

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進 責任者	港営部長・企画調整室長
施策	4 良好な港湾環境の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	水域の適正な管理が行われ、港湾における環境負荷が低減するなど、自然環境、生活環境、地球環境などさまざまな面で環境を守り環境にやさしい港	
	サービスの対象物(何を)	港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組			
展開①	水域の適正な管理 放置艇による問題を解決するため、関係機関や利用者との調整、係留保管場所の確保及び地域の実情に照らした規制によって、名古屋港の水域の適正な管理に取り組みます。	展開②	港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全 名古屋港管理組合業務や港湾物流における温室効果ガス排出量を削減するため、環境負荷の低減や自然環境保全に取り組むとともに、PR活動を実施します。	展開③	長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保 港内で発生するしゅんせつ土砂の処分場の確保を進めるとともに、廃棄物処理に関わる埋立地の整備を引き続き進めます。

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	26年度			27年度			28年度			28年度の 状況	28年度実施事業に基づく評価結果		
			上段:指標	目標値	実績値	上段:指標	目標値	実績値	上段:指標	目標値	実績値		29年度以降の方向性	成果	コスト

【展開①】水域の適正な管理

施04 事101	放置艇対策の推進 (プレジャーボート対策担当)	巡視及び行政指導を行った回数 【単年度管理型】	24回 30回 41,835千円	24回 54回 76,183千円	36回 67回 22,306千円	36回	目標値を 上回る	継続	維持	維持	・放置等禁止区域の拡大指定に伴う放置艇等の移動・撤去を確実にやっていく必要があるため。
-------------	----------------------------	----------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	-----	-------------	----	----	----	---

【展開②】港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全

施04 事201	第3次名古屋港管理組合 地球温暖化対策実行計画の推進 (環境担当)	環境に配慮した取組の 達成状況 【進行政管理型】	13項目 11項目 3,524千円	15項目 12項目 4,460千円	18項目 11項目 4,480千円	18項目	遅れ	完了			・温室効果ガス削減に係る項目は、概ね目標を達成したものの、全体としては目標を達成できませんでしたが、第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画は、最終年度の平成28年度末で終了し、次期実行計画に移行するため。
施04 事202	港湾環境啓発活動の推進 (環境担当)	パンフレット等の受取人数 【単年度管理型】	1,100人 1,004人 3,032千円	1,100人 645人 2,862千円	1,100人 1,056人 3,120千円	1,100人	目標値を やや下回る	継続	維持	維持	・環境啓発活動は、効果的な手法の検討を行いながら、継続的に取り組む必要があるため。

【展開③】長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保

施04 事301	稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進行政管理型】	100.0% 100.0% 1,923,491千円			100%(累計)					26年度完了
施04 事302	しゅんせつ土砂処分場の確保 (企画担当)	しゅんせつ土砂処分場計画 の策定までの状況 (全4工程) 【進行政管理型】	2工程 1工程 3,083千円	2工程 1工程 3,122千円	2工程 1工程 3,136千円	4工程(累計)	やや遅れ	継続	拡大	維持	・国によるしゅんせつ土砂処分場計画の早期の策定に向けて、国などと協力しつつ、関係者と鋭意調整を図っていく必要があるため。
施策コスト(合計)			1,974,965千円	86,627千円	33,042千円						

3. CHECK(成果目標の状況・28年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等		年度			目標値 [30年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	年度	26年度	27年度	28年度			
放置艇の隻数	(仮目標値)*	隻	(1,016)	(982)	(948)	880	・放置艇対策の推進については、放置等禁止区域の拡大、巡視・行政指導を行うなど、順調に進捗しています。
	実績	隻	930	800	720		
名古屋港管理組合 温室効果ガス総排出量の削減率	(仮目標値)	%	(3.0)	(4.0)	5.0注	—	・温室効果ガス総排出量の削減率については、名古屋港埠頭側の業務移管、施設の統廃合に加え、道路照明等の設備更新などにより、基準年度(平成23年度)に比べて19.5%の削減となりました。
	実績	%	7.5	16.4	19.5		

注:温室効果ガス総排出量の削減率は、第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画に基づき、28年度を目標年度としております。

\* 仮目標値 = 初期値(25年度) + (目標値(30年度) - 初期値(25年度)) / 5年間(政策体系期間) × 25年度からの経過年数

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)	(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入) ・第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の推進を展開②に追加する必要があります。
適正 <b>見直しが必要</b>	

28年度に取り組んだ内容	
【展開①】	・職員による放置等禁止区域の定期的な巡視を行いました。 ・巡視については、美濃川地区の放置等禁止区域の拡大指定(平成29年4月)に向けて、区域内の放置艇等を確認・把握するため目標値(月3回)よりも多く行うとともに、放置艇等の所有者に対して新舞子ボートパークへの自主的な移動や撤去を促しました。 ・港湾計画に位置付けられた弥富ボートパークの整備手法や施設配置案等の検討のため、事業化検証調査の実施について調整を進めました。
【展開②】	・第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画に定める取組項目・取組事項について、四半期毎に集計を行い、進捗管理を行いました。【完了】 ・港湾環境啓発活動の推進は、環境デーなごなどのイベントで配布する啓発用パンフレット類を刷新し、積極的にイベントに参加して配布するとともに、小中学校の環境学習に協力しました。
【展開③】	・国によるしゅんせつ土砂処分場計画の策定に向けて、国などと協力しつつ関係者調整を行い、平成26年度より国において行われている漁業影響調査については、平成28年度に現地調査が完了しました。 ・平成28年8月には、国において環境影響評価法に基づく配慮書とみなす書類の手続きが完了し、平成29年3月には、方法書の手続きが開始されました。

4. ACTION(課題・29年度以降の取組方針)

課題	29年度以降の取組方針
【展開①】 ・放置等禁止区域の拡大指定に伴う放置艇等の移動・撤去を着実にやっていく必要があります。 ・弥富ボートパークの整備を進めるため、関係者と調整する必要があります。	・放置等禁止区域の拡大指定区域の放置艇等の移動・撤去を進めるため、巡視及び行政指導を適切に行っていきます。 ・弥富ボートパークの事業化検証調査を実施し、整備に向けて関係者と調整を進めていきます。
【展開②】 ・第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の対象期間が終了しますが、今後も温室効果ガス総排出量の削減に取り組む必要があります。 ・名古屋港の環境の取組について、更に多くの県民・市民に関心を持って頂くように広報に努めていく必要があります。	・平成29年度に第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画を策定し、目標達成に向け、実行していきます。 ・環境デーなごなどのイベントへ積極的に参加し、また、みなと体験ツアー等の機会を活かして、刷新した啓発用パンフレット類を配布するとともに、小中学校の環境学習に協力していきます。
【展開③】 ・しゅんせつ土砂処分場計画の策定には様々な調整が必要のため、引き続き、国などと協力して取り組む必要があります。	・国によるしゅんせつ土砂処分場計画に係る漁業影響調査結果の取りまとめや計画策定に向けた調査が進められている中、早期に計画が策定されるよう、国などと協力し、関係者調整を行っていきます。